

業 種	鉄道・軌道
取組分野	重大事故等への対応
テーマ	重大事故等への対応力強化に向けた取組み
取組の狙い	「緊急時対応計画・アクションプラン」の策定、異常時総合訓練、危機管理シミュレーション等の実施を通じて、緊急時の対応力を強化
具体的内容	<p>小田急電鉄(株)では、以下の取組みを通じて、緊急時の対応能力向上に努めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鉄道における事故発生時の対応を定めた「運転事故応急処理手続」とは別に、全社的な対応を要する重大事故等の危機に対応するため、平成 16 年 7 月に、危機発生時における組織や権限、社員の行動基準を明確に定めた「危機管理規則」及び危機発生時に社員が何をすべきかを時系列で定めた「緊急時対応計画・アクションプラン」を策定し、全社員に周知しています。 2. また、消防署等と連携して脱線事故等を想定した異常時総合訓練を毎年実施しており、平成 10 年度からは、アンケートモニター(※利用客の声を生かすために毎年300名募集されています)が訓練を見学できるようになっています。訓練終了後には反省会を開催して課題を抽出し、次回の訓練に反映させています。 <div data-bbox="906 875 1437 1223" data-label="Image"> </div> <p>〔 実際に電車と自動車を衝突させての異常時総合訓練 〕</p> <p>そのほか、大規模地震や鉄道事故等の危機発生時の経営層による意思決定をテーマとした机上演習型の危機管理シミュレーション(事故のシナリオを伏せて実施)を実施しています。平成 20 年に実施した訓練においては、危機管理コンサルタント会社による評価を受け、体制の改善を図るべく「危機管理規則」の変更を行ないました。</p> 3. 一方で、過去に発生した重大事故等を掲載した安全ニュースの発行や、事故被害者の方の体験談を伺う安全講演会の開催などを通じて、事故の風化防止を図っています。
取組の効果	異常時総合訓練や危機管理シミュレーションは実戦型の訓練として緊急時の対応能力向上に役立っていると考えられます。
事業者名	小田急電鉄(株)安全・技術部 安全マネジメント担当 (連絡先:電話 03-3349-2371)